

早稲田大学 社会科学部 世界史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	昨年まで長く全問選択問題が続いたが、30字の小論述が登場した。その関係で記号選択問題は3題減って37題となった。2020年に消えた1題につき適切なものまたは適切でないものを2つ選べという形式(2018年の5題から2019年2題に減っていた)は復活しなかった。正誤判定のポイントにマイナーなポイントが目立つがその一方で易しい選択問題も目立つ。全体として難易度は昨年並み。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	世界史上の成文法と人権・女性の権利	問1. 正解はc。「身分による刑罰の差別ももうけなかった」が誤り。ハンムラビ法典には身分による刑罰の差があった。一方で民族や宗教による差別はなかった。問2. 正解はa。b独裁官の任期は半年。c「コンスルの1名は平民より選出」はリキニウス・セクスティウス法(前367)の内容。dこちらがホルテンシウス法(前287)の内容。問3. 正解はc。ここの選択肢は易しい。問4. 正解はd「オランプ＝ド＝グージュ」。「女性の権利宣言」(1791)は有名。a「ルージュ＝ド＝リール」はラ・マルセーエーズの作詞・作曲者。c「シャルロット＝コルデ」はマラーを暗殺した女性。問5. 正解はa。ジョセフィーヌと離婚したあとの結婚相手は「スペイン皇女」ではなく「オーストリア皇女(マリ＝ルイーズ)」。問6. 正解はa。④「ブラウン判決」(1954)→③「ワシントン大行進」→①「公民権法」(1964)→②「キング牧師暗殺」(1968)の順。①と②の前後がわかれば二択。ブラウン判決はきついが前日には商学部でも出題されていた。やはり黒人差別が大きな注目を浴びた影響だろう。判決は、公立学校での白人・黒人分離を定めたカンザスの州法を違憲としたもの。その流れで翌1955年にはローザ・パークス事件からバス・ボイコット運動がおこる。その指導者として台頭したのがキングである。問7. 正解はd。女性参政権はニューージーランドが最初とわかれば二択となりあとは易しい。問8. 正解はc。「男女雇用機会均等法」は1985年の制定。問9. 正解はb。aサーリフはリベリアの大統領。cスー＝チーはビルマ。dブットはパキスタンの首相。スリランカはバンダラナイケ。59年、首相だった夫が暗殺され、60年に総選挙で勝利し世界最初の女性首相となった。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅱ	冒険の歴史	<p>問1. 正解はa。b オデュッセウスはトロイアからの帰途、海神ポセイドンの怒りによって難にあい数々の苦難ののち10年後に帰国する。c オリンポス12神の筆頭は「ヘクトール」ではなく「ゼウス」。ヘクトールは『イリアス』に登場するトロイアの王子。アキレウスとの一騎打ちで敗死する。d 『労働と日々』はヘシオドスの作。ピンダロスはオリンピアの祝勝歌で知られる。問2. 正解はd。アルキメデスは南イタリアのシラクサ出身だがムセイオンで学んだので「アレクサンドリア」は正しい。「円周率」は細かい。よく知られているのは浮力の原理の発見。a エピクロスはサモス島の出身。b ゼノンはスコラ哲学ではなくストア派。c 「アキレウスと亀のパラドックス」はゼノン。これは世界史の知識というより一般教養。問3. 正解はb。内容は第4回十字軍(1202～04)に該当。a 9世紀の出来事はカロリング朝の断絶(875)。c プレヴェザ海戦(1538)は敗戦が正しい。d イタリア王国によるヴェネツィア併合(1866)はプロイセン＝オーストリア(普墺)戦争(1866)に際してのこと。問4. 正解はa。大理はフビライの遠征軍に滅ぼされた。撃退したのはベトナムの陳朝。問5. 正解はb。②「アメリゴ＝ヴェスプッチ第1回大西洋横断(1497～98)(コロンブスが到達したのはアジアではなく新大陸と報告したのは第3回航海(1501～02))→④「カブラルのブラジル漂着」(1500)→①「バルボアのパナマ地峡横断」(1513)→③「コルテスのアステ侵入」(1519)。先頭が②or④、最後尾が①or③のどちらかが見えれば二択に持ち込めるがいずれにしても難しい。問6. 正解はa。「梅毒」は新大陸から旧大陸に持ち込まれたとされる。異説もあるが『用語集』では断定的に書いてある。1492年の航海の際に欧州に持ち込まれ、イタリア戦争(1494～1559)緒戦の仏王シャルル8世配下のスペイン人傭兵によってイタリアへ入りナポリで大流行した。戦争と感染症、そして「性」の問題は古くて新しいテーマである。問7. 正解はc。a トルデシヤス条約(1494)はイサベル・フェルナンド共同統治時代。b メキシコ征服＝アステカ滅亡(1521)はカルロス1世時代。d ヨーゼフ2世の父はフランツ1世。問8. 正解はb。a 「レオポルド2世の支援」はスタンリー。c コンゴ自由国は事実上国王の私領で一方的支配を受けていたので「自治権」はない。d コンゴの独立は1960年。アフリカで17カ国が独立したいわゆる「アフリカの年」である。問9. 正解はd。a オランダは参戦していない。b ファレスは「クリオーリョ」ではなく「先住民」出身。c マクシミリアンは「故郷のオーストリアに追放」ではなく「処刑」。メキシコ出兵は昨年を引き続いての出題。</p>	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅲ	ハギア＝ソフィア関係史	<p>問1. 正解はc。a「尖塔」はビザンツ様式の特徴ではない。現在のハギア＝ソフィアは尖塔4本を伴うがこれはモスクに改造された際に追加されたミナレット。bユスティニアヌスとテオドラのモザイクはラヴェンナのサン＝ヴィターレ聖堂。dレパント海戦(1571)はセリム2世時代。問2. 正解はa。b「征服王」はメフメト2世。cコーヒーハウスが16世紀中ごろに開かれたのは正しいがウィーンから伝わったは事実無根。dトルコ共和国の首都はアンカラ。問3. 正解はb。a「背教者」とはユリアヌス帝。cペルシア人阿羅本が中国にネストリウス派キリスト教を伝えたのは唐の太宗のとき。dエフェソス公会議(431)で異端とされたのはネストリウス派。公会議と異端の関係は頻出事項。問4. 正解はc。ユスティニアヌスが滅ぼしたゲルマン国家は北アフリカのヴァンダルとイタリアの東ゴートの二つ。a東ゴート建国はユスティニアヌス以前の493年。bグプタ朝は北インド。d隋建国は581年。問題文にユスティニアヌスの在位年が示されているので答えやすい。問5. 正解はa。bモンテ＝カシノに開かれたのは「ベネディクト会」。cトゥール・ポワティエ間の戦いの宮宰は「カール＝マルテル」。dピピンの寄進は「ラヴェンナ」。ここの選択肢の誤りは易しい。問6. 正解はb。aポーランド人とcスロヴェニア人はともにカトリック。東欧圏の民族と宗教の組み合わせは狙われやすい。dビザンツ最後の皇帝の姪と結婚したのは「イヴァン3世」。問7. 正解はa。bビザンツ皇帝(アレクシオス1世)からの救援要請を受けたのは「ウルバヌス2世」。c第3回十字軍はイェルサレム奪回に失敗が正しい。dブルガール人は「トルコ系」。問8. 正解はb。aシリアは仏の委任統治領。c連合国によるオスマン帝国分割計画は「サイクス・ピコ協定」(1916)。d「独立」が誤り。問9. 正解はc。トルコ共和国成立は1923年。スルタン制廃止は1922年。カリフ制廃止は1924年。</p>	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅳ	世資本主義の時代	<p>問1. 正解はc。a スミスは重商主義を「批判」。b マルサスは「人口増大」が貧困を不可避にすると主張。人口と経済(豊かさ)の関係は経済学の永遠のテーマ。19世紀の経済学関係は頻出分野として要注意。d ミルは「女性参政権を支持」。女性の権利をめぐるテーマでのミルの登場頻度は高い。問2. 新出の小論述。30字という字数だと「論ずる」というのは無理。『用語集』や教科書の該当部分を思い出しながらかき出すといった感覚で答える。問3. 正解はc。a ネットケルは特権身分の免税特権廃止を企画。仏革命は「貴族の反抗」から始まったことは重要。d バブーフがめざしたのは「私有財産制度の廃止」。問4. 正解はb。「ニューラナーク」はグラスゴー(スコットランド)郊外の地。オーウェンが経営する模範的工場が立地。アメリカの共産社会は「ニューハーモニー」。c プルードンは「政府」を否定。d マルクスと心理学は無関係。問5. 正解はc。a リストは保護貿易主義を主張。b ビスマルクの保護関税法(1879)の説明。産業資本家とユンカーの利害を一致させた(「鉄と穀物の同盟」)。農産物にも保護貿易を適用した。d 「自由貿易帝国主義」はパーマストン外交(1830～65)。ジセヨゼフ=チェンバレンは植民相として露骨な植民地獲得に走った。問6. 正解はc。ボーリング条約(1855)の説明。a 「耕作民に土地所有権を認めた」が誤り。b 強制裁培制度(1830)当時、オランダ東インド会社(1799年解散)は存在していない。d 「関税自主権維持」が誤り。問7. 1920年代の米共和党政権は保護貿易政策をとった。b フォーディズム(フォード主義)とは「少品種大量生産」である。c レーニンの死は1924年(23年には再起不能となっていた)。問8. 正解はb。フーヴァー共和党政権は大恐慌に直面しても経済への政策的介入には消極的だった。c マクドナルドは「失業保険削減」を主張し労働党から除名された。d ロンドン世界経済会議(1933)では戦債問題で穂米英が対立した。問9. 正解はc。③「マーシャル=プラン」(1947)→①「朝鮮戦争」(1950～53)→②「自民党(日)成立」(1955)→④「E E C発足」(1958)の順。自民党結成は日本史と政経では基礎事項だが世界史だときびしい。55年体制という用語が想起できれば問題は一気に解決。問10. 正解はc。a 「金ドル本位制」から「変動相場制に移行が正しい。b ウルグアイ=ラウンド(1986～94)では「知的所有権」も対象とされ、その結果1995年にWHO(世界貿易機関)が成立した。d 「1993年」ではなく「1999年」が正しい。ヨーロッパ中央銀行の設立が1999年、12カ国でのユーロ流通開始は2002年。</p>	標準

[総合コメント]

社学独特の設問形式で厄介な「適切(または適切でない)ものをすべて選べ」の復活が危惧されたが杞憂に終わった。復活しなかったのはよろこぶべきである。また、細か過ぎる正誤ポイントも減少したまま推移し、一昔前の社学世界史にくらべ取り組みやすくなった。このように出題傾向が変化してきているので過去問(とくに2012年以前)演習の際には注意が必要である。現状では早大の教育・法・商学部の選択問題に類似のものが見られる。併願していれば問題ないが、そうでない場合も演習問題としてこなしておく方がよい。年代配列問題は二択に絞れるものが目立つ。とりあえずは二択にしてから細かいポイントや意外な見落としがないかじっくり考えるのがよい。年代配列の中には手ごわい設問が目立つ。年代は可能な限り頭に入れておきたい。近現代史は日本関連からの細かい出題も目立つ。日本史の教科書や『用語集』にまで手を出す必要はないが、世界史分野で日本関連の事項が出てきたら入念にチェックしておきたい。新登場の30字小論述は、今年程度のレベルなら特別の対策は不要。とにかく文をまとめるのが苦手という向きは東大二次の小論述がトレーニングに丁度いい。解説類も充実しており何かと便利である。